

新任社外取締役メッセージ

自由闊達な議論を通じて 社会的価値と経済的価値の循環の輪を広げ、 企業価値向上に貢献する

社外取締役 **永野 毅**



1975年に東京海上火災保険株式会社に入社。東京海上日動火災保険株式会社の常務取締役、専務取締役、東京海上ホールディングス株式会社の社長・グループCEO、会長を歴任し、2025年6月より東京海上日動火災保険株式会社相談役（現職）。2026年6月に当社社外取締役に就任。保険会社の経営者として長年にわたり培ったリスクマネジメントやグローバルな事業展開に関する豊富な経験に加え、企業経営全般について幅広い知見と見識を有する。

これまでのキャリアについて

2026年に新たに社外取締役に就任した永野毅です。私は約50年にわたり損害保険業界に身を置いてきました。経営に携わる前は、営業、海外拠点、経営企画、人事など幅広い部門を経験し、M&Aも国内外で数多く手掛けてきました。

不動産と保険とはビジネスの親和性が高く、当社が手掛ける街づくりなどでも、建物・施設などの不動産資産や建設工事に保険は不可欠です。また、当社の事業と保険事業とはさまざまな共通点もあります。例えば、保険は形になっていない分、人と人がつくる信頼・信用がすべての財産であるため「People's Business」と呼ばれますが、これは当社の事業も全く同じです。また、保険会社は、リスクテイクを本分としながらも、いざという時にお客様に確実に安心と安全をご提供するため、地理的にも、保険種目などの事業的にも、リスク分散を図ることで事業の安定性を確保し、グループで支え合う構造をつくっています。この構造は、多様なアセットクラスとグローバルでポートフォリオを有する当社の構造にも通じるところがあります。そして、事業を通じて社会課題の解決を図り、その結果として自社の収益の持続的成長と企業価値向上

につなげている点も、大事な共通点です。

このような共通点もありますので、私がこれまで保険会社で培った経験やリスク管理の知見などを当社の企業価値向上に活かし、社外取締役としてしっかり当社の成長に貢献していきたいと思います。

当社に対する印象

私は、日本橋や日比谷、豊洲、東京ミッドタウン、さらには柏の葉などから、当社の圧倒的なまちづくり力を感じています。また、オフィスや商業施設にとどまらず、アリーナをつくったり、スタートアップを支援したり、街の価値そのものを高める取り組みもしています。特に日本橋におけるライフサイエンス・宇宙・半導体ビジネス拠点など、未来の産業に携わる人たちを集めたプラットフォームづくりからは、多様な機能を組み合わせながら未来の課題解決に向き合って価値創造を図る姿勢を強く感じています。

また、当社は、人を大事にする会社としての印象も強くあります。優秀な人材が、人々の幸せな人生を支える事業を展開しており、これは人を大事にする社会づくりをしているとも捉え

ています。そして、このたび社外取締役就任にあたり、とある取締役から、当社の取締役会では自由闊達な議論がなされているとお話を伺いました。取締役会で最も大事なものは、執行側が包み隠さずさまざまな課題を共有し、それに対し異なるバックグラウンドを持つメンバーが自由に思うところを発言することです。私自身、前職では長年取締役会議長を務め、他社も含めて長く取締役会に参画してきました。執行側が最終的に意思決定をするうえで、取締役会での多様な意見を参考に意思決定できることに大きな価値があります。モニタリングボードとしての役割・機能・考え方も大切ですが、執行役と取締役とは、合わせ鏡のように相互に高め合う関係です。取締役会で自由闊達に論議し、未来を見据え、当社の中長期的な価値創造に貢献していきたいと思います。

社外取締役就任にあたっての抱負

私は、経団連での人口問題委員長や危機管理・社会基盤強化委員長、国土交通省での国土審議会議長、日本生産性本部の令和国民会議（令和臨調）での共同座長として、日本の国土や地方・地域のありかた、ビジョンや国家像について考え、議論する機会が多くありました。今後日本は、ゆっくりと人口が半減に向かい、災害の多発などの課題にも向き合い続けなければなりません。人口も財政も現時点ではやや東京に偏っています。そうしたなか、日本の一人ひとりの豊かで幸せな暮らしを支えるために、当社ができることは何なのか。首都圏に加え、地方の魅力を高める方向にも意を用いれば、さらにポテンシャルも広がるでしょう。当社の経営理念やパーパスとも関連しながら、これまで以上に、社会で必要不可欠な存在になるために、社会的価値と経済的価値の創造を両立する循環の輪を、ともに広げてまいります。

マネジメントメッセージ

1 三井不動産の価値創造

2 価値創造に向けた戦略

3 戦略を支えるインフラ

4 事業別戦略

5 Appendix

PICK UP

CEOメッセージ

CFOメッセージ

社外取締役座談会

人材戦略

DX戦略

サステナビリティ戦略